

## 江津地域の今後の県立高校の在り方について

## 1 現状

近年の少子化の影響や進学先の多様化により、江津地域における現状の県立高校の配置では、望ましい教育環境を将来にわたって維持することが難しくなっており、抜本的対応と教育のさらなる質の向上が必要

## (1) 江津高校と江津工業高校の入学者数等

高校	年度	H31	R2	R3	R4	R5	5年平均
江津高校	定員	80	80	80	80	80	80
	入学者数	72	55	57	60	66	62
	定員充足率	90.0%	68.7%	71.2%	75.0%	82.5%	77.5%
江津工業高校	定員	80	80	80	80	80	80
	入学者数	50	55	49	41	45	48
	定員充足率	62.5%	68.7%	61.2%	51.2%	56.2%	60.0%

## (2) 江津市内中学校卒業生数推移

卒業年月	R3.3	R4.3	R5.3	…	R8.3	…	R14.3
中学校卒業生数	190	190	180	…	148	…	140
R5.3比	+10	+10	—	…	△32	…	△40

※ R8.3とR14.3の卒業生数は、令和5年5月1日現在の小中学校在籍者数より推計

## (3) 江津市内中学校卒業生のうち高校（全日制）進学者の内訳

年度	R3	R4	R5	…	R8
江津高校	47 (+市外 10)	46 (+市外 14)	45 (+市外 21)	…	35 (+市外 11)
江津工業高校	20 (+市外 29)	20 (+市外 21)	20 (+市外 25)	…	15 (+市外 33)
私立高校及び その他地域	109	111	97	…	93
計	176	177	162	…	143

※ R8の進学者は、令和4年度までの入学者数により推計

## 2 基本的な方針（案）

- ・ 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ・ 1 学年 2 学級の江津高校と江津工業高校を統合し、新たに 1 学年 3 学級の高校を設置
- ・ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ・ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるよう、工業教育の更なる魅力化を検討
- ・ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ・ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和 10 年度前後を想定

### <新設校のイメージ>

想定される学び		1 学年当たりの学級数	
進学を念頭に置いた学び	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 文系進学をめざすコース</li><li>・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざすコース</li></ul>	1 学級	2 学科 3 学級
工業教育の更なる魅力化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械系</li><li>・ ロボット制御系</li><li>・ 建築系</li><li>・ 電気系</li></ul>	2 学級	

## 3 地域説明会

7 月 15 日（土） 江津市総合市民センター大会議室 13:30～